



「比和自然科学博物館だより」として、新情報や収蔵展示資料の紹介などをしていきます。紹介した展示資料が館内のどこにあるのか、探してみると楽しいですよ！

※展示標本と写真の個体は同じではない場合がありますので、ご了承ください。

今月の推し虫

和名:アカスジキンカメムシ

学名:*Poecilocoris lewisii*

金属光沢をもった緑色で赤い筋があります。名前は、この特徴を表したものです。アカスジキンカメムシが属するキンカメムシ科は、カメムシの中では、美麗種が多く含まれ、広島県内では、ニシキキンカメムシに続いて美しいカメムシです。ニシキキンカメムシは標本にすると輝きが失われますが、アカスジキンカメムシは、輝きは失われるものの、色彩は比較的よく残ります。

アカスジキンカメムシは、キンカメムシ科の中では最普通種で、しばしば見かけます。幼虫は黒い体に、白い帯状の紋があり、成虫とは全く印象が違います。

いろいろな落葉広葉樹から吸汁しますが、スギやヒノキの球果からも吸汁することが知られています。このような食餌植物の選択の幅広さが、個体数の多さに関連していると考えられます。

【解説：秋山美文（比和自然科学博物館客員研究員）】

